

平成 27年 05月 23日

国土交通大臣 殿

## 地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

佐久平いぶきの家

グループの名称

佐久平いぶきの家を創る仲間達

直近採択グループ番号

04-0010-0228

※過去に地域型ブランド化事業で  
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

望月 哲男

代表者印

代表者所属先

株式会社すまいー

代表者構成員番号

VI-1

代表者所在地

長野県佐久市前山75-1

代表者電話番号

0267-63-7676

(グループ事務局)

事務局事業者名

株式会社すまいー

事務局構成員番号

VI-1

事務局担当者名

飯田 智

印

事務局郵便番号

385-0046

事務局所在地

長野県佐久市前山75-1

事務局電話番号

0267-63-7676

事務局FAX

0267-63-7678

事務局担当者E-mail

mail@sumaiichi.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	佐久平いぶきの家
2. グループの名称(必須)	佐久平いぶきの家を創る仲間達
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0010-0228
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	長野県東信地域
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	望月 哲男
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社すまいー
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-1
9. グループ代表者所在地(必須)	長野県佐久市前山75-1
10. グループ代表者電話番号(必須)	0267-63-7676
11. グループ事務局事業者名(必須)	株式会社すまいー
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	飯田 智
14. グループ事務局郵便番号(必須)	385-0046
15. グループ事務局所在地(必須)	長野県佐久市前山75-1
16. グループ事務局電話番号(必須)	0267-63-7676
17. グループ事務局FAX番号(必須)	0267-63-7678
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	mail@sumaiichi.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	3	
II. 製材・集成材製造・合板製造	6	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	6	
IV. プレカット	4	
V. 設計	13	
VI. 施工	11	
VII. 省エネルギー設備等の流通	0	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	長野県産材	長野県	信州木材認証制度	2	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅) 16 戸		地域材加算合計 5 戸	
	経験工務店+未経験工務店の合計			
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	11 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	5 戸
	うち申請が確実	1 戸	うち申請が確実	0 戸
	うち申請が未確定	10 戸	うち申請が未確定	5 戸
	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	5 戸
C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計 0 戸		地域材加算合計 0 戸	
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸
	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計 0 戸		地域材加算合計 0 戸	
	うち申請が確実	0 戸	地域材加算(うち申請が確実)	0 戸
	うち申請が未確定	0 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	0 戸
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	優良建築物			
	うち申請が確実	棟	m <sup>2</sup>	
	うち申請が未確定	2 棟	800 m <sup>2</sup>	

各社の予定を伺い、補助金額の割り振りを行う。その上で 補助金の額と、補助金の枠を会員の皆様にお知らせし、その中で工事の確実な会員の方から順次、補助金の申請を行っていく。  
 枠や、額の変更がなされるごとに、会員の皆様にお知らせを行い、会員の皆様が公平に補助事業に取り組めるように、事務局で配分額の調整などを行う。

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み	
	採択戸数	3 戸	交付申請戸数	3 戸
	竣工済	1 戸	竣工予定	2 戸
木造建築物				
採択棟数	3 棟	採択床面積	462 m <sup>2</sup>	



























1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 佐久平いぶきの家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県東信地域
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 佐久平いぶきの家を創る仲間達	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0228	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	長野県佐久地方は、日本一の晴天率(90%)、年間の降水量・降雪量共に格段に低く高燥冷涼な気候であり主たる良質な県産材は唐松・杉・赤松・桧等である。この地域特性を踏まえて、取り組む。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	主要構造材(柱・梁・桁・土台等)の過半に地域材を使用し、在来軸組み工法を基本とする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	外装材の30%以上に唐松材を有効に使用し、庇の出を深くし750mm以上を確保する。風を建物内に取り入れ、空気の流れを考慮した間取り・開口部を計画する。	◎
④①～③の背景	長野県は森林が豊富なことから、良質な唐松・杉・赤松・桧などの信州木材認証制度による県産材を利用しやすい環境にある。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	信州木材認証製品(工場・製品認証材)とする。	◎
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	主要構造材(柱・梁・桁・土台)の過半にグループ指定の地域材を使用し、柱は120mm角以上の材を使用する。	◎
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	建材メーカー・流通グループと連携して使用する建材の性能の担保に取組み、共同購入等を勧め、安定供給とコスト低減を計る。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	材料/工法/設備の標準化及び共通部材の設定によるコストダウンと工事単価・材料単価の標準価格設定を図るため検討実施体制を造る。	◎
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	グループとして管理方針を明確とするため、事務局(佐久平いぶきの家を創る仲間達)が中心となり、管理、協力機関及び蓄積情報の統一を行う。	◎
b.		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	佐久平いぶきの家の基準をグループ内に徹底し、上記の委員会の開催を通じて信頼性の向上の為の意思疎通を図る。	◎
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールの設定	科学的な検査手法の検討と検証や実施する時期など、事務局が中心となり検討を行い、技術的な検証を実施する	◎
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	工事単価、材料単価の標準価格設定をするとともに材料/工法/設備の標準化を図る。	◎
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	見学会の開催および、東信地区で開催されるイベントに出展を行う。	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入	街並み、住環境の維持管理のサポート・現場看板の統一、現場の美化の統一指導を行う。地域景観計画を遵守する。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 <small>(必須)</small>	<small>(地域型住宅の名称)</small> 佐久平いぶきの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 長野県東信地域
2. グループの名称・結成年月 <small>(必須)</small>	<small>(グループの名称)</small> 佐久平いぶきの家を創る仲間達	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 <small>(必須)</small>	04-0010-0228	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長年にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	グループ共通の維持保全計画書の作成とメンテナンス実施時期の明文化。(30年間)メンテナンス実施に関する報告書の提出。	
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化		◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	メンテナンス実施に関する時期の連絡体制の整備と、メンテナンス箇所の統一化を図り、リスト化を行う。	○
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	建築した該当住宅の一種ごとに、見学会及び相談会を実施する。地域イベントに参加し相談会を実施する。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	事務局を窓口とし設計担当を中心に維持管理委員会を設置する。	◎
b	瑕疵担保責任保険の加入の確認。事務局に「相談窓口」を設置し、対応する。	
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制		○
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	お施主様向けの瑕疵担保保険相談窓口を設け、瑕疵担保保険の加入の指導、チェックを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入	地域への世代を超えた浸透を図る。	○
エ. グループの技術力の向上		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	グループ内の長期優良住宅の経験メンバーを中心に施工現場内にて勉強会を実施。	
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催		◎
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	グループ内の設計者による長期優良住宅の技術的部分の仕様の説明会を実施。年二回。	○
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	チラシ及びホームページにより、消費者への情報公開を行う。	◎
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	設計及び施工の標準化を計り、その仕組みと施工結果記録の義務化。	○
b	グループ参加者の全員の講習会への参加を目指す。	
①省エネ技術講習会への参 加目標人数		○
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	主催者からの案内を会員に周知し、事務局から参加を促す。	◎
c	新たな技術の情報収集に心掛け、講習会等で導入を検討する。	
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法		○
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	情報を集めたうえで、可能な限り講習会を実施し、実際の施工物件において取組みを進める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自 のルール・目標があれば記入		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。



1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 佐久平いぶぎの家	(地域型住宅供給対象地域) 長野県東信地域
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 佐久平いぶぎの家を創る仲間達	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0010-0228	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①地域材ごとの使用部位(必須)	主要構造部に信州木材認証製品を使用する。	◎
②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)	主要構造部の過半に信州木材認証製品を使用する。外装材の30%以上を唐松を利用する。	◎
地域材利用に関する共通ルール(必須)	主要構造材(柱・梁・桁・土台等)の過半を地域材とする。 外装材の30%以上に唐松材を使用する。(防火・準防火地域はこの限りではない) 原則として信州木材認証製品(工場・製品認証材)とする。	◎
地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明	地域材の供給を安定的に行う為、グループ内の認証工場を利用し、建築コストの高騰を避ける。	◎
b		
①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み	事務局が認証工場とタイアップし、認証品の勉強会や研修会の実施及び地域材の出荷状況等の情報共有を計る。	◎
②グループ全体における地域材の需給予測	グループ全体で10棟を目標とし、150m3を予測とする。	◎
c		
①-1 畳の活用	可能な限り和室を設けることを推奨する。	○
①-2 和瓦の活用	設計時から和瓦の使用を推奨する。	○
①-3 襖の活用	和室のある住宅の場合にはできるだけ襖を利用することを推奨する。	○
①-4 障子の活用	和室のある住宅の場合にはできるだけ障子を利用することを推奨する。	○
②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用	出来るだけ唐松の材料を使用する。	○
d		
①地域の伝統的なデザインを継承する取組	出来るだけ底の深い、切妻屋根を基本としたデザインを推奨する。	○
②地域の住まい方の継承につながる取組	高燥冷涼な風を利用するような建物を計画する。	○
③地域の街並み形成へ寄与する取組	佐久地方の各行政団体が制定する景観ガイドラインを意識し、グループ構成員に対して景観形成の一端を担う認識を高める。	○
④和の住まいの要素を取り入れた取組	佐久平いぶぎの家は地域材を利用した和風のすまいづくりを推奨する	○
その他	見学会、相談会を通じて伝統的な地域のすまいづくりを地域の方に推奨する	○
※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入		
その他		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	佐久市は大船渡市と姉妹都市であるため、東北地域との交流をできるだけ図り、地域材の効果的な流通に協力する。	○
グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。